

# 「命をつなぐ人々」救急隊員との 忘れられないエピソード

2024 救急の日特別企画

Vol.10

投稿者：甲斐さん

## 真冬の夜中、どれだけ心強かったか

2020年正月

95歳の祖父が夜中に真冬の寒いトイレから出てこず祖母が見に行くとかんだはずみに息が止まったようでした。

父が119通報し電話応対して下さった隊員さんが父の友人でした。

「敏ちゃん(父の名前)、電話をスピーカーにして」

と、まず指示されその隊員さんは署に残り、それから気道確保や人工呼吸の仕方を指示されながらやっている間に救急車が到着しました。

かすかに目が開き息を吹き返し開眼したように見えたのですが、まもなく搬送先で亡くなりました。

あの時どれだけ心強かったことか。

隊員さんは定年退職し今は私が働く病院に患者として来院しますが感謝しても足りません。

最期に生きて救急車に乗っていく祖父が見られて良かったなど、家族で今でも話します。



写真：ご祖父から甲斐さんの娘（ひ孫）さんにご逝去の4日前に手渡されたお年玉袋。